

定量イムノクロマト マイコトキシンキット



TotalTox コーム
ADFZ マルチトキシン
コーン試料用

アフラトキシン DON フモニシン ゼアラレノンの一斉抽出・同時試験が可能
オクラトキシン A も共通抽出液で試験が可能になりました

高精度

マトリックスごとの標準検量線をロット毎に提供
HPLC や LC-MS/MS と高い相関一致を示します

簡単

上清液とバッファーを混合してストリップを挿入
反応後は専用リーダーで自動解析&データ化

迅速

反応時間は DON = 最短 2 分、アフラトキシン最短 4 分
リーダーの解析から PDF データ生成まで数秒

低コスト

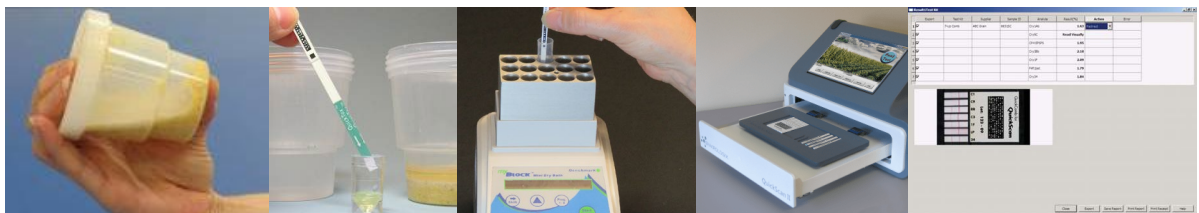
参照標準不要ですべてのストリップを利用可
簡単手技で人的費用も大幅に削減

信頼

AOAC および USDA/GIPSA 性能認証 多数
認証標準試料でロットごとにキャリブレーション

柔軟

コーンや小麦だけでなく、米、落花生やグルテンフィードなど
飼料副原料など多彩なマトリックスを正確に測定します



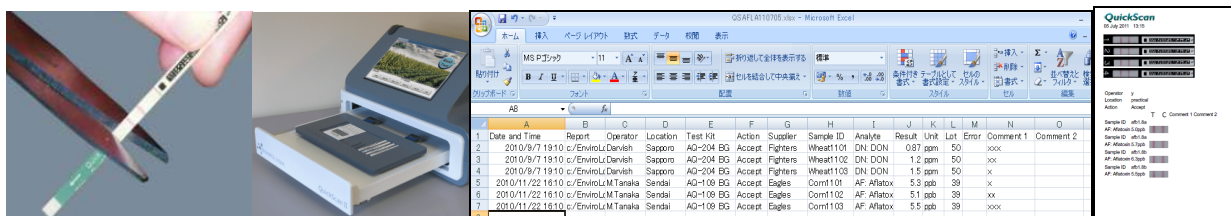
QuickScan リーダーシステムが別途必要です

マイコトキシニンムノクロマト定量キット

簡単・手軽な操作とデータ化



破碎/均質化 振とう/抽出/精製 バッファー希釈 クロマト展開*



2～5分で終了 専用システムにより数秒で解析、自動的に写真付き PDF レポート & データ化

※: TotalTox シリーズはミニチューブ仕様。20-24℃以外ではチューブインキュベータ必須

穀類から飼料副原料まで様々な試料に高感度対応。性能認証も

キット名 および 性能認証*	適用試料	測定範囲
TotalTox アフラトキシン AOAC PTM, USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、小麦、大麦、ライ麦、オーツ麦、玄米、ソルガム、マサ粉、綿実、落花生 DDGS、コーングルテンミール、コーンジャーム、大豆ミール等	2.7~300ppb コーン 1.5ppb~
TotalTox DON AOAC PTM, USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、コーングルテンミール、コーングルテンフィード、DDGS、小麦、ふすま、小麦粉、漂白粉、小麦グルテン、大麦、大麦麦芽、オーツ麦、ライ麦、ソルガム、大豆ミール、米粉 等	0.1~30ppm
TotalTox フモニシン USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、マサ粉、コーングルテンミール、DDGS、ソルガム、コーン発酵タンパク、小麦	0.1~100ppm
TotalTox ゼアラレノン USDA/GIPSA	コーン、小麦、DDGS、コーングルテンミール	50~2000ppb
QuickScan オクラトキシン A	コーン、小麦	1.5~30ppb
QuickScan T-2/HT-2 FLEX	コーン	25~2500ppb

測定範囲および AOAC 及び USDA/GIPSA の性能認証は試料タイプにより異なります。
AOAC PTM(Performance Tested Method)の評価試験は Journal of AOAC に記載されています。

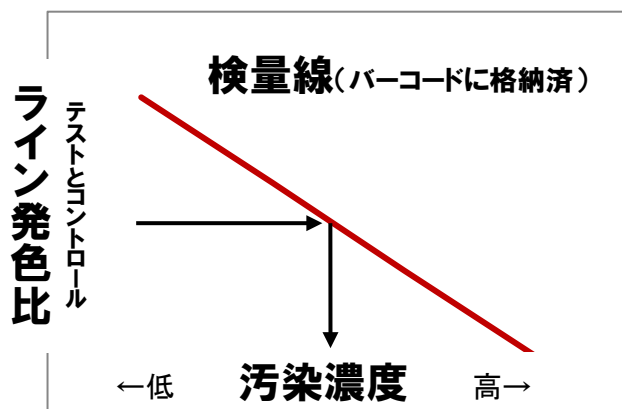
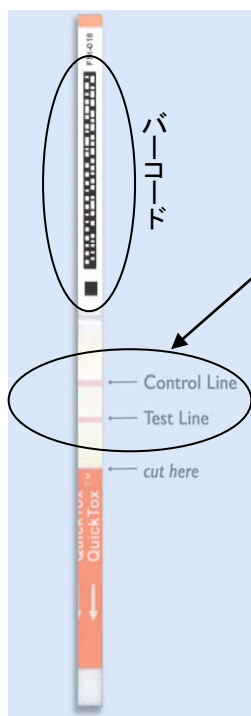
マルチトキシンを一斉抽出・同時検査をコームタイプで



TotalTox コーム ADFZ

コーン試料から専用バッファーと水で抽出
ストリップ展開 4分
アフラトキシン、DON、フモニシン、ゼアラレノン
を同時検査します (コーングルテンミールも可)
オクラトキシン A も同じ抽出液から QuickScan で試験できます

TotalTox(QuickScan) システム定量の仕組みと正確さの理由



濃度計算のイメージ

ストリップ上に(或いはカードで)バーコード(QRコード)が付与されています。バーコードには、既知の複数段階濃度の標準試料を測定して得られた反応データがマトリックス標準検量線として収められています。そして実際のストリップ試験の発色反応が、このデータとともにシステムで読込・解析されます。この検量線データは、試料の種類タイプ毎に用意されているので、マトリックスによって異なる反応阻害等の影響が勘案されます。また、製造ロット毎にも測定されており、試験結果のロット間差も極小化されることになります。

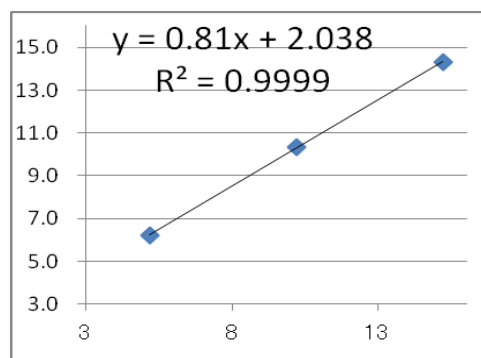
また、独自に開発された画像解析アルゴリズムは、クロマト用紙や試薬ラインの万一の不均質にも対処でき、厳しい品質管理や多種多様なテストノウハウとともに、精度向上に寄与しています。

さらには、抽出と試験などの操作をとても簡単にしたこと、室内さらには空間においても試験精度を明らかに、飛躍的に向上させることが出来ました。

添加回収試験による性能確認 (いずれも弊社調べ)

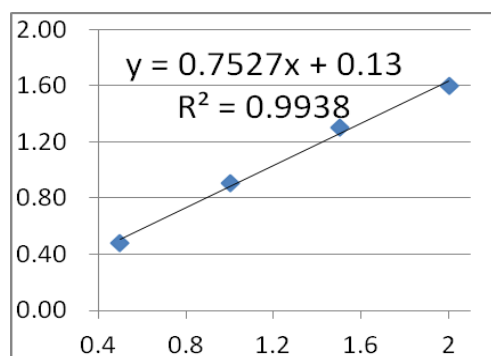
アフラトキシン(ppb):コーン

ID	添加	期待値	測定値	測定値	SD	CV%	真度
0-1	-	3.2	2.7	3.2	0.5	14.3%	100.0%
0-2			3.6				
0-3			3.3				
2-1	2	5.2	6.2	6.2	0.6	8.8%	119.2%
2-2			5.7				
2-3			6.8				
7-1	7	10.2	10	10.3	0.6	5.6%	101.0%
7-2			10				
7-3			11				
12-1	12	15.2	14	14.3	0.6	4.0%	94.1%
12-2			15				
12-3			14				



デオキシニバレノール(ppm):小麦

ID	添加	期待値	測定値	平均	SD	CV%	真度
0.0-1	-	0	< LOD				-
0.0-2			< LOD				
0.0-3			< LOD				
0.5-1	0.5	0.5	0.54	0.48	0.06	11.9%	96.0%
0.5-2			0.46				
0.5-3			0.43				
1.0-1	1	1	0.95	0.91	0.04	4.5%	91.0%
1.0-2			0.87				
1.0-3			0.9				
1.5-1	1.5	1.5	1.3	1.3	0.0	0.0%	86.7%
1.5-2			1.3				
1.5-3			1.3				
2.0-1	2	2	1.7	1.6	0.1	6.2%	80.0%
2.0-2			1.5				
2.0-3			1.6				

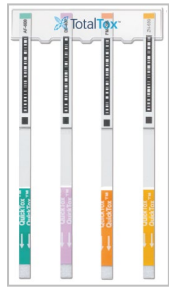


TotalTox / QuickScan マイコトキシ 免疫クロマト 定量

特定のマイコトキシをストリップ上の抗体で捕捉、2~5分後バンドの呈色によって判断する免疫クロマトキットで、別売の QuickScan II リーダーシステムを用いて、ELISA よりも迅速簡易でしかも正確に定量することができます。多くのキットが AOAC や USDA GIPSA などの性能認証を受けています。またコーン・小麦のほかコメ・落花生やグルテン、グルテンフィード、ミール、DDGS などの飼料副原料等、多様なマトリックスにも対応しています。

(製造 : EnviroLogix Inc. 米国) rev.2026.04

*性能認証 A : AOAC PTM G : USDA/GIPSA



TotalTox コーム ADFZ マルチトキシ 3245EL2410 48組 308,000円
(アフラトキシ DON フモニシン ゼアラレノン)

マルチテストコーム 48組、反応チューブ、ピペットチップ、アッセイバッファー、TotalTox 抽出バッファー

TotalTox アフラトキシ	3245EL2025	50本	84,000円	A・G
TotalTox DON(※2)	3245EL2046	〃	〃	A・G
TotalTox フモニシン(※1)(※3)	3245EL2065	〃	〃	G
TotalTox ゼアラレノン(※1)(※3)(※4)	3245EL2075	〃	〃	G

ストリップ 50本、反作用ミニチューブ、ピペットチップ、アッセイバッファー等

(※1)「TotalTox 抽出バッファー (50包)」【3245EL8117】(18,000円)
フモニシン・ゼアラレノンキットで抽出に必須 (DON は一斉抽出試験時) (アフラトキシキット標準添付)
(※2)「DB5 アッセイバッファー (7mL)」【3245ELDB5B】(3,000円)
DON キットで一斉抽出試験時にのみ必須
(※2)「DB6 アッセイバッファー (11mL)」【3245ELDB6B】(3,000円)
DON キットでコーングルテンフィード試験時、追加で必須
(※3)「EB18 バッファー濃縮液 (50検体分)」【3245EL8270】(8,000円)
フモニシン・ゼアラレノンキットで DDGS・グルテンミールの試料抽出にのみ必須
(※4)「DB7 アッセイバッファー」【3245ELDB7B】(3,000円)
ゼアラレノンキットで DDGS 試験時にのみ必須



チューブインキュベータ



QuickScan T-2/HT-2 FLEX 3245EL2053 50本 84,000円
QuickScan オクラトキシ A 3245EL2031 〃 〃

ストリップ 50本、反作用ミニカップ、ピペットチップ、アッセイバッファー等

目的・用途
原理

特定の穀類、種実、飼料副原料等中のマイコトキシのスクリーニング・定量
ラテラルフロー (免疫クロマト) 法

操作

(例) 穀類試料 (試料を破砕均質化し US20 メッシュ相当でふるい)
前処理 : 試料に抽出液を加え高速振とう後、静置/遠心/ろ過等で上清をとる
① バッファー液と抽出上清を反応容器にいれ混和
② ストリップ下端を浸し、所定時間 (2~5分) インキュベータ (20~24℃)
③ 下端を切り離し QuickScan リーダーで測定 (詳細は別途お問合せください)

必要器材

QuickScan II リーダーシステム (5005ELA331) 780,000円 (GMO 定量にも使用可)
あるいは QuickScan Connect リーダー (5005ELA33C) 450,000円 (別途 PC 必要)
チューブインキュベータ (5073ELBH30) 88,000円 (試験室 20~24℃なら不要)
高速振とう器、マイクロピペット、遠心分離機

測定範囲 (例)
キットにより
対応試料と感度
が異なります
お問合せ下さい

アフラトキシ	1.5~300ppb	QuickScan II リーダー
DON	0.1~30ppm	
フモニシン	0.1~100ppm	
ゼアラレノン	50~2000ppb	
T-2/HT-2 トキシ	25~2500ppb	
オクラトキシ A	1.5~30ppb	

QuickScan II



Windows11 PC一体型 3USBポート、有線LAN、Wi-Fi対応